

2 要求のポイント

長野県総合5か年計画～しあわせ信州創造プラン～の基本目標「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の創造を目指し、また、人口定着・確かな暮らし実現総合戦略による地域社会の維持・活性化に向け、第2次教育振興基本計画の基本理念「一人ひとりの学びが生きる教育立県「信州」の創造」に沿った施策を関係部局と連携しながら推進します。

要求主要事項

■困難を抱える子どもへの支援

貧困や家庭事情などにより、困難な状況に置かれている子どもに対し、スクールソーシャルワーカーなどの専門家による環境改善等に向けた支援や、地域との連携による学習支援・居場所づくりなどを行います。

⑧ スクールソーシャルワーカー活用事業（要求額:52,458千円）

⑧ 地域未来塾事業（要求額:5,847千円） など

■児童生徒の学力向上と能力・個性の伸長

長野県の未来を担う子どもたちが、確かな学力を身につけるとともに、個々が持つ能力や個性を最大限に伸ばすことにより、世界につながる力を備え、希望する進路を実現できる力を育成します。

⑧ 「未来を拓く」学力の向上事業（要求額:7,841千円）

⑨ 「科学の甲子園ジュニア」全国大会プレ大会の開催（要求額:3,973千円）

⑨ 科学オリンピック養成講座の開講（要求額:4,469千円）

⑨ 高校生ウィーン派遣事業（要求額:3,000千円） など

■「人口定着・確かな暮らし実現総合戦略」に基づく取組

信州創生に向け、独自の伝統文化、美しく豊かな自然環境・観光資源、地域の絆や自治意識の強固さといった、長野県の地域特性を活かした学校づくりと教育に取り組むとともに、地域に根ざしたスポーツの振興などを推進します。

⑧ 「信州学」推進事業（要求額:33,071千円）

⑧ 地域スポーツ拠点マルチ化事業（要求額:5,933千円） など

貧困などの困難を抱える子どもへの支援

事業	内容	28年度当初要求額 〔27年度当初予算額〕
<p>⑧ スクールソーシャル ワーカー活用事業</p>	<p>いじめ、不登校、暴力行為などの背景にある家庭的な問題(貧困、児童虐待、家庭内不和など)に対して、児童生徒を取り巻く環境等を改善するため、社会福祉や精神保健福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーを増員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカーによる相談時間の拡大 (平成27年度:4,426時間 → 平成28年度:11,200時間) 	<p>52,458千円 〔20,396千円〕</p>
<p>⑧ 地域未来塾事業 (放課後子ども教室推 進事業の一部)</p>	<p>学習が遅れがちな中学生に対し、地域住民等の協力を得て学習支援を行う「地域未来塾」を充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施市町村・中学校の拡大 平成27年度: 3市町村・学校組合、8中学校 平成28年度: 8市町村・学校組合、14中学校 	<p>5,847千円 〔2,550千円〕</p>
<p>⑧ 特別支援教育充実事 業</p>	<p>特別支援学校や小・中学校における特別支援教育の専門性や教師の支援力の向上を図り、障がいのある児童生徒の自立と社会参加に向けた力を育成</p> <p>(拡) 自立活動担当教員の増員(平成28年度:20人) (平成26年度～28年度:通算60人増員)</p>	<p>548,986千円 〔400,031千円〕</p>

児童生徒の学力向上と能力・個性の伸長

事業	内容	28年度当初要求額 〔27年度当初予算額〕	
〔拡〕 「未来を拓く学力」の向上事業	<p>小中学生の学力向上を図るため、学力実態を把握し、確実に定着させる仕組みの構築や授業改善等を図る取組を推進</p> <p>(拡)学カスパイラルアップ事業 「授業改善推進リーダー」による実践研究を進め更なる授業改善に取り組む</p>	7,841千円 〔5,393千円〕	
未来を担う 科学技術人材 育成事業	〔新〕 科学の甲子園ジュニア開催	<p>全国の中学生が都道府県を代表して集い、科学の思考力、技能を競う「科学の甲子園ジュニア」全国大会を平成29年度から10年間本県で開催するため、プレ大会を実施</p> <p>・「科学の甲子園ジュニア」全国大会プレ大会の開催</p>	3,973千円 〔 0千円〕
	〔新〕 科学オリンピック養成講座	<p>「科学オリンピック」や「サイエンスグランプリ」等の各種コンテストにおいて全国大会を勝ち抜き、国際的に活躍できる人材を育成するため、科学人材の実力養成講座や強化合宿を実施</p> <p>・ 科学オリンピック出場者強化(対象:高校生) ・ サイエンスグランプリ上位チーム強化(対象:中学生)</p>	4,469千円 〔 0千円〕
	〔新〕 サイエンス・アソシエーション・プロジェクト(SAP) ～産学連携による体験的学習の推進～	<p>高校生がグローバルな視点を広げ、科学技術に関する探究心を深めることができるよう、産学連携による体験的学習を推進</p> <p>・ 最先端の実験、実習等に触れることができるよう、県立高校等が企業や研究機関と連携して実施する国内研修や海外研修等を支援</p>	21,558千円 〔 0千円〕
学校芸術文化 活動支援事業	〔拡〕 全国高等学校総合文化祭開催事業	<p>平成30年度に本県で開催が予定されている「第42回全国高等学校総合文化祭」に向け、実行委員会を組織し、推進体制の確立を図るとともに、先催県の視察や出場予定部活動の活性化を図る</p>	26,300千円 〔4,321千円〕
	〔新〕 高校生ウィーン派遣事業	<p>長野県とオーストリアの交流・連携を進める取組の一つとして、ウィーン楽友会館との姉妹提携を踏まえ、小諸高校音楽科の生徒をウィーンに派遣し、現地の音楽学校との交流を実施</p>	3,000千円 〔 0千円〕

「人口定着・確かな暮らし実現総合戦略」に基づく主な取組

事業	内容	28年度当初要求額 〔27年度当初予算額〕
<p>⑧ 「信州学」推進事業</p>	<p>自らが生まれ育った地域を理解し、ふるさとに誇りと愛情を持ち大切にすることを育むため、研究モデル校での実践例をもとに、県立高校において長野県の歴史・文化等に係る学習や地域の特色を生かして独自に取り組む探究的学習を実施</p> <p>平成27年度：カリキュラムの研究、モデル校による取組 (拡)平成28年度：モデル校における取組を基に、広く県立高校において地域の特色を生かして実践</p>	<p>33,071千円</p> <p>〔1,154千円〕</p>
<p>⑧ 地域スポーツ拠点マルチ化事業</p>	<p>県民がスポーツに関心を抱くきっかけをつくるため、気軽に参加できる身近なスポーツ環境を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合型地域スポーツクラブ活動推進事業 総合型地域スポーツクラブに、専門的な技術指導力を備えた外部指導者を派遣するなどにより、活動を充実 ○ 地域スポーツの新たなプラットフォーム形成支援 公民館、文化施設、商店街のコミュニティスペース等において、従来から行っている生涯学習・文化・地域活動等に加え、新たに地域スポーツ活動を行う取組を支援 	<p>5,933千円</p> <p>〔932千円〕</p>
<p>⑨ アスリート就職支援事業</p>	<p>県内出身及び県内での競技継続を希望するアスリートの県内企業への就職を増やし、地域スポーツの好循環を生む環境を整えるため、アスリートと県内企業との双方方向型就職マッチングシステム「長野県版『アスナビ』」を構築</p>	<p>1,111千円</p> <p>〔 0千円〕</p>
<p>⑧ 地方創生のモデルとなる新しい高校づくり推進事業</p>	<p>白馬高校に国際観光科を設置し、地域の観光資源を活かした魅力あるカリキュラム編成や教材開発を行うカリキュラムコーディネーターの配置や生徒の全国募集パンフレットの作成等に取り組む</p>	<p>4,176千円</p> <p>〔 0千円〕</p>